

令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来観光ビジネス学科	科目名	テーマパークサービスとMICE・アクティビティ		
授業種類	演習	履修区分	必修	履修時期	通年
授業時間	60単位時間	担当教員	酒井智昭		
授業 内 容	《授業概要》				
	<p>前期はMICEやIRを中心学びます。地域活性化を資するためにMICEの建設が有益であることは異論が無いようです。国家戦略としても重要視されています。しかしながら、MICE建設には地域住民から多くの反対意見があることも事実です。特にMICEに含まれるIRについては、それが顕著になっています。生徒が関連に意見を出し合い、その存在価値について共に考えていくものにしたと思います。また、後期にはテーマパークとリゾートを学びますテーマパークについては、多くのテーマパークの栄枯盛衰を紹介しながら、長期的に「顧客のココロを掴みつづける」ものであるための理論面を学習します。</p>				
授 業 計 画	《学習の到達目標》				
	<ol style="list-style-type: none"> 1 MICEの意義について理解することができる。 2 「繁栄を続けるテーマパークとは」の運営上の法則性を知り、生徒が多くのビジネスに応用していける 3 IRの存在について多角度から考察する 4 リゾートの意義(正しい定義)を認識することができる 				
授業計画					
前期			後期		
1	MICE・ゲーミング・IRの概要	16	総合保養地域整備法の経緯と施行結果		
2	MICEの取り組み(日本と外国比較)概要	17	破綻したテーマパークの共通性		
3	ゲーミングの理解と魅力度	18	TDLの空間計画①		
4	社会的存在としてのゲーミング企業	19	TDLの空間計画②		
5	S&Pモデルのゲーミング産業への適用	20	TDLのバリアフリー		
6	ビジネスツーリズムを主にした統合型リゾート	21	TDLの色彩分析		
7	ファミリーエンターテインメントを主にした統合型リゾート	22	TDLの成立と件		
8	シンガポール国家戦略としてのMICE・IR	23	テーマパークのまとめ		
9	ラスベガスのIR	24	リゾート意義と観光客誘致		
10	IRの功罪① ～レビュー～	25	BeachResortの設計とザ・ブセナテラス		
11	IRの功罪② ～レビュー～	26	BeachResortの設計とWaikiki		
12	日本のIR整備法分析①	27	WinterResortの設計とGraySeason		
13	日本のIR整備法分析②	28	WinterResortの設計とザ・ウィンザーホテル洞爺		
14	日本のIR誘致自治体	29	北海道・東京のSwitzerland・PROJECT		
15	前期のまとめ	30	年間の総括		
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	<p>〈教科書〉特になし。教員作成のオリジナル教材を配布する。 〈参考書〉分野が広範囲に及ぶため、各WEBサイトや参考文献、参考になり得る論文を紹介するので必ず目を通しておくこと</p>				
成績評価	課題と定期テストの総合評価になります				
履修上の 留意点	各国の事例(特にアメリカとシンガポール)に興味を持って下さい。				